**第２次玉名市男女共同参画事業計画（平成２５年度～平成２９年度）**

**平成28年度実施状況報告**

この報告には、玉名市男女共同参画計画に関する施策の中から、主な事業を抜粋して掲載しております。

**重点目標Ⅰ･･･　男女共同参画の意識づくり**

|  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| **施策の基本方向** | **主要施策** | | **具体的な取り組み** | | **平成28年度の実施状況** | | **担当課** |
| **１　男女の人権の尊重** | **（１）人権尊重の理解と認識** | | 人権意識を高めるための教育や啓発の推進 | | 平成28年8月6日（日）に玉名市民会館において人権教育研究大会を開催。様々な依存症からの回復を目指す団体「熊本ダルク」代表による講演は、自分を見つめなおす良い機会となる講演となった。 | | 生涯学習課  H28 |
| 児童生徒より募集した人権啓発ポスターや標語を、研究大会や人権週間の期間に展示し啓発を行った。  応募：ポスター　111点  　　 　標 語 145点  展示回数：3回 | | 生涯学習課  H28 |
| 「人権の花運動」を通して花の世話に関わる中で、高学年の児童が低学年の児童の手助けをするなど経験し、小学生が助け合いの大切さを実感していた。風船で飛ばした種を拾ったという手紙や電話が各地から届き、子どもたちが大変喜んでいた。  平成28年度は築山小学校で実施。 | | 人権啓発課  H28 |
| 11月19日（土）玉名市民館において、なかよしの日イベントと共同でフォーラムを開催。発達障害をもつピアニストの演奏及び講演で、幅広い世代や身体的リスクのある人に効果的な啓発ができた。  参加人員：205名 | | 人権啓発課  H28 |
| 広報紙、HPにて、「キラリ輝く人たち」と題して、地域の人材にスポットを当て、「男女共同参画」を身近に感じてもらえるような記事を掲載した。 | |
| 男女共同参画の視点による人権を守る環境づくり | | 7月1日から7月31日の期間に、チラシ配布や車両による広報活動を行い、街頭啓発を実施した。  配布場所：玉名駅前、ツタヤ、マツモトキヨシ、ダイレックス、マルエイ（築地、岩崎、伊倉）、ゆめタウン、ナフコ、草枕温泉、横島ゆとりーむ  のぼり旗設置：中央公民館、玉名駅、こころピア。 | | 生涯学習課 H28 |
| 毎号、広報の校正の段階で、不適切な表現等がないかチェックし、人権や男女平等に配慮した表現を心がけた。 | | 人権啓発課  H28 |
| **（２）あらゆる暴力の根絶** | | セクシュアル・ハラスメントの防止対策と啓発 | | 主任級以下の職員を対象としたメンタルヘルスセルフケア研修の中で、ハラスメントについての研修を行った。 | | 総務課  H28 |
| 「あらゆる暴力」を許さない意識づくり | | ・広報紙に年１回、ホームページに常時掲載し相談  体制の周知を行っている。  ・民生委員会議での周知、県女性相談センターや  婦人相談員連絡協議会での情報共有、また関係  課と常時連携を図りながら必要に応じてケース会  議を実施している。 | | 子育て支援課  H28 |
| 11月に開催した男女共同参画フォーラムにおいて、児童虐待及びDV防止啓発のため、オレンジリボン、パープルリボン運動を実施し、啓発を行った。 | | 人権啓発課  H28 |
| 子ども・高齢者などの弱者に対する虐待防止に向けた取り組みの推進 | | 高齢者教室にて「人権について」講演を２回行い啓発活動に取り組んだ  参加者計74人 | | 生涯学習課  H28 |
| ・玉名市要保護児童対策及びＤＶ防止対策等地域協議会代表者会議：1回  ・実務担当者会議：１回  ・学習会（他機関への説明等）：２回  ・児童虐待について  　実人員８３人  　ケース検討会議１０６回  ・DV来所相談  　実人員２２人  　述べ件数７９件  　ケース会議２０回 | | 子育て支援課  H28 |
| 虐待における早期発見と早期対応に努め、各機関との連携を図ってきた。困難事例の増加とともに重篤なケースも多く、益々重要な虐待対応と解決の意識づくりを要する。 | | 高齢介護課  H28 |
| ・各事業の実施と併せて、地域の子育て相談役である母子保健推進員や関係機関等と協力しながら情報把握に努めている。  ・必要に応じて関係機関と連携しながら、本人や家族と面談・ケース検討を行い、虐待の防止と早期発見に努めている。 | | 保健予防課  H28 |
| ①相談支援事業所と協力しながら、当事者や家族の相談等に対し、アドバイス等を行った。  巡回相談については、利用者が少ないためH28年度より中止。地域での早期発見のため各市町の保健師との意見交換会などを開催し、各関係機関との連携強化に努めた。 | | 総合福祉課  H28 |
| ②２件の虐待通報があり、１件は調査、報告済。１件は継続調査中である。 | |
| 被害者に配慮した相談体制の充実 | | 養育費や生活困窮者の相談などの研修会に参加し、研鑽して相談体制の充実を図っている。 | | 子育て支援課  H28 |
| 乳幼児健診や家庭訪問等を通して、対象者との信頼関係を築きながら相談者の話を傾聴し、気軽に相談できる体制づくりに努めた。また、相談技術のスキルアップのための研修会や生活安心ネットワーク委員会等へ職員が交代で参加した。 | | 保健予防課  H28 |
| ①毎月1回、課と包括の会議を開き連携強化を図った。  ②県等主催の研修会への参加や介護サービス事業所職員に対する研修会を開催した。  ③医療、介護等の多職種が情報の共有を図り、高齢者の個別課題の解決に努めた。 | | 高齢介護課  H28 |
| 手話通訳者の設置の利用は毎月平均２０件以上ある。手話通訳者の設置は、聴覚障がい者のみならず、健聴者にとっても非常に有益である。 | | 総合福祉課  H28 |
| 年間4回「生活安心ネットワーク委員会」会議を開催し、困難事例対応等の研修を通して、委員会と委員の役割・意義の再確認を行い、相談員・職員の意識の統一と資質の向上を図った。 | | くらしサポート課  H28 |
| **施策の基本方向** | | **主要施策** | | **具体的な取り組み** | | **平成28年度の実施状況** | **担当課** |
| **２　男女共同参画の視点に立った教育・保育・学習の推進** | | **（１）家庭・地域社会における男女共同参画の意識づくり** | | 固定的性別役割分担意識の改革と慣行の見直し | | 子育て世代への啓発として、男女問わず小児の救急処置の習得のための小児対応救命講座を実施。 | 人権啓発課  H28 |
| 家庭教育・社会教育における学習機会の充実 | | 男女共同参画週間である６月に、図書館に特設コーナーを設け、男女共同参画に関連する書籍を設置した。 | 人権啓発課  H28 |
| 九州看護福祉大学と共催で市民向けの公開講座の5回分を共催。 |
| 「男女共同参画特集」を各館の特設コーナーとして設置したことで、利用者への啓発につながった。また、ＨＰに掲載したことにより、より一層の周知が図られた。 | コミュニティ推進課  H28 |
| **（２）就学前・学校教育における男女共同参画の意識づくり** | | 子どもの発達段階に応じた男女平等教育の推進 | | 冬に行った親子ミニ門松づくり講座では父親と参加している親子もおり、講座の内容次第ではもっと父親の参加を増やすことができるのではないかと思った。 | コミュニティ推進課  H28 |
| 教職員や保育士などへの研修の充実 | | ・保育士不足のため、市主催の男女共同参画の研修に参加することはできなかった。  ・男性保育士の働きやすい職場については、園長会等で適宜取り上げ、改善するよう努めている。 | 子育て支援課  H28 |

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| **施策の基本方向** | **主要施策** | **具体的な取り組み** | **平成28年度の実施状況** | **担当課** |
| **３　男女共同参画啓発活動の充実** | **（１）広報・啓発活動の充実** | 市の広報紙などを活用した啓発の充実 | 市民の興味をひきやすいよう、写真付きのコーナーを確保し、身近な人にスポットをあてて、男女共同参画を啓発した。 | 人権啓発課  H28 |
| 講演会や講座などの開催 | 市民が気軽に講座へ参加できるよう、また、興味を持てるよう、講座タイトルやチラシの作製を工夫した。 | 人権啓発課  H28 |
| 男女共同参画フォーラムでは、障害者に対する理解や可能性、家族の絆といった面を通じて、男女共同参画を幅広い世代等に啓発を行う事ができた。 |
| 男女共同参画に関する調査の実施と情報の収集や提供 | 広報誌とホームページに、毎月「男女共同参画社会をめざして」の記事を連載した。平成28年度は6回掲載。うち「きらり輝く人たち」シリーズは平成27年7月から。 | 人権啓発課  H28 |
| ・6月に無作為抽出した2,000人を対象に市民意識調査を実施。  ・市内に本店を置く従業員10人以上の事業所279事業所に対し、事業所実態調査を実施。 |
| すでに実施した講座について追跡調査を行い、講座受講後にどのような変化があったかなどを調査した。あわせて男女共同参画関連用語の認知度も尋ねた。 |

**重点目標Ⅱ･･･　男女共同参画の環境づくり**

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| **施策の基本方向** | **主要施策** | **具体的な取り組み** | **平成28年度の実施状況** | **担当課** |
| **１ 政策・方針決定過程への女性の参画の拡大** | **（１）政策・方針決定過程への女性の参画促進** | 市における審議会等への女性委員の登用目標設定及び進捗状況調査の実施 | ・女性登用の少ない委員会等へは、現状の把握及び今後の女性登用を推進し、女性人材リスト活用も併せて啓発を行った。  ・女性活躍推進法の制定に伴い、市においても「玉名市特定事業主行動計画」が策定された。 | 人権啓発課  H28 |
| 管理職や地域活動等の指導的立場への積極的な女性の登用 | 関連団体へ女性委員の登用を推進したが、あまり効果は見られなかった。 | 商工政策課  H28 |
| 6次産業化において女性の果たす役割は大変大きく、女性の農業分野での地位向上など大きく寄与している。 | ふるさとセールス課  H28 |
| 直接該当する事業はなかったが、「景観づくり交流会」に積極的に参加してもらい、発言していただくとともに、「イチオシ景観」の応募を通して、意見を提出してもらった。 | 建設課  H28 |
| 玉名市公民館支館長には、数値目標に掲げる21名中3名の女性登用を実現できた。今後も積極的に促していきたい。 | コミュニティ推進課  H28 |
| 「玉名市女性人材リスト」の整備と積極的活用 | 都市計画審議会では、「女性人材リスト」を活用している。  景観審議会については、景観計画策定委員会からの継続を基本としていたため、活用はしていない。 | 建設課  H28 |
| ・女性人材リストへ新規2名の登録を行うことができた。  ・女性人材リスト活用のため、庁内IPKで定期的な周知を行った。 | 人権啓発課  H28 |
| 市における委員選定の際の男女共同参画担当課との協議と公募制の導入 | 公募制の導入は進んできている。 | 人権啓発課  H28 |
| **（２）女性のエンパワーメントの支援** | 女性の能力開発と能力発揮のための支援 | 男女を問わず、人材育成のための研修を積極的に行っている。 | 総務課  H28 |
| 県地域リーダー育成研修へ、市職員から1名の派遣をすることができた。 | 人権啓発課  H28 |
| 県主催の女性人材育成関連研修等の周知を行った。 |
| 現在9団体ある「女性の会」同士で状況報告及び意見交換を行うことができた。 | 生涯学習課  H28 |
| 玉名管内での女性農業委員研修や県女性農業委員研修等への積極的な参加があり、充実した学習や体験の機会の拡充を図ることができた。  ・開催回数　４回  ・参加人数（延べ人数）　14名 | 農業委員会事務局  H28 |
| 講座などにおける託児の実施 | 託児室設置11回、子供利用46名  託児スタッフ8名（H28年度1名増員）  託児室設置により、安心して講座等へ参加者できるよう環境を整えた。 | 人権啓発課  H28 |
| 講演会のターゲット次第では託児利用が多数あると思われるため、今後もチラシ等での無料託児の周知を行っていく。 | コミュニティ推進課  H28 |

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| **施策の基本方向** | **主要施策** | **具体的な取り組み** | **平成28年度の実施状況** | **担当課** |
| **２ ワーク・ライフ・バランスを実現するための環境づくり** | **（１）働く場での男女共同参画の推進** | 働く場での男女平等に向けた啓発活動の推進 | 広報紙に、ワーク・ライフ・バランスについて掲載し、仕事と家庭生活等の充実が図られるよう推進した。 | 人権啓発課  H28 |
| 農林水産業・商工業など自営業における男女のパートナーシップの推進 | 家族経営協定締結件数は平成28年度実績で572件であり目標数値は到達している。今後も、協定締結の戸数増加を促す。 | 農林水産政策課  H28 |
| 自己能力や生産技術・管理能力などを高めるための学習支援 | 男女共同参画係と連携し、意欲ある女性へセミナー等の情報を提供した。 | 商工政策課  H28 |
| **（２）仕事と家庭生活の両立支援** | 育児・介護休業制度などの周知と利用促進 | 新規採用職員研修の際に説明を行うとともに、男性職員には短期の育児休業の取得を促している。 | 総務課  H28 |
| 仕事と子育て・介護が両立できる環境づくり | 病児病後児保育施設利用者数：649人  ファミリーサポートセンター利用件数：1330件 | 子育て支援課  H28 |
| ・延長保育20ヵ所で実施。  平均対象児童数見込数：239人  ・一時預かり保育6ｶ所で実施。  延べ利用児童数：6,969人 |
| ①介護保険を必要とされる方へのサービス提供  ②認知症フォーラム等を開催し高齢者に周知を図る。  ③高齢者世帯に必要な支援を提供。 | 高齢介護課  H28 |
| ・両親学級を毎週金曜に開催。参加者２３８人。  ・母子手帳交付時にパパ手帳や孫育て手帳（祖父母向け）を配布し、子育てに関する意識向上を図った。  ・両親学級を通して、妊娠中の健康管理や精神的支援の大切さについて啓発を行った。  ・母子手帳交付時にプレパパ・プレママ学級のチラシ配布し、参加呼びかけた。  ・ハイリスク妊婦への支援充実に向けてＨ２９年度より利用者支援事業（母子型）を実施予定。 | 保健予防課  H28 |
| 男性、子どもにとっての男女共同参画の推進 | 「男性の料理教室」をしている、「たまな元気会」や男性を中心とした「むしゃもん塾」等を紹介した。 | 高齢介護課  H28 |
|  | | | | |
| **施策の基本方向** | **主要施策** | **具体的な取り組み** | **平成28年度の実施状況** | **担当課** |
| **３　あらゆる分野における男女共同参画の推進** | **（１）地域社会における男女共同参画の推進** | 地域社会での男女平等と社会参画の推進 | 広報紙にて「キラリ輝く人たち」、「ワーク・ライフ・バランス」、「防災と男女共同参画」について掲載し啓発を行った。 | 人権啓発課  H28 |
| 各種ボランティアの育成と協働 | 県主催の地域リーダー育成のための研修に市職員から1名の参加があった。地域の一般参加を募るため広く呼び掛けが必要である。 | 人権啓発課  H28 |
| 登録団体：74団体  情報発信：376件  ｱｸｾｽ数：11,139件  団体の新規登録は1件で、情報発信は376件であった。これは、目標値を上回ってはいるが、サイト管理をする中で、たまりんの活用啓発を促すためにホームページの画像変更回数を増やしたためであるので、登録団体の情報発信数を増やしていけるような働き掛けが今後は必要である。  また、アクセス数は、熊本地震の影響からか4月～6月が例年になく多かった。（ボランティア情報検索のためと考えられる） | 企画経営課  H28 |
| ＰＴＡ家庭教育部の活動として講演会を2回開催した。 | 生涯学習課  H28 |
| **（２）国際的理解の推進** | 国際理解のための学習機会などの充実 | 各中学校区にＡＬＴを１人づつ配置し校区の小学校を含み、各学校で外国語活動を実施できた。  玉名市独自のエンジョイ・イングリッシュも各小学校で常時実施できた。  低学年から外国語に親しむ本活動は、中学校から始まる英語(教科としての外国語）に子ども達を滑らかに接続することができている。  玉名学の中で、国際交流事業を実施した。 | 教育総務課  H28 |

**重点目標Ⅲ･･･　男女がともに自立し、豊かで安心して暮らせる社会づくり**

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| **施策の基本方向** | **主要施策** | **具体的な取り組み** | **平成28年度の実施状況** | **担当課** |
| **１ 生涯を通じた健康づくりの支援** | **（１）心身の健康づくり支援の充実** | 各種健診事業などの充実と受診率向上 | ・広報誌やHPでの周知及び乳幼児健診などで若い世代への呼びかけ、未受診者への受診勧奨を行ったため、結核・肺がん、子宮頸がん、乳がん検診の受診率が微増となった。  ・妊婦健診１４回分の費用助成を実施した。里帰り出産のための健診費用助成についても継続実施した。  ・母子手帳交付時に妊婦健診受診の必要性について啓発行った。  ・熊本県では熊本型早産予防対策事業が開始となり、今後玉名市での実施についても検討していく。 | 保健予防課  H28 |
| 食育・健康教育・相談事業の充実 | 第３次玉名市食育推進計画を策定した。食育推進連  携会議を３回、食育推進会議を５回開催した。子育  て世代を対象に元気野菜の会の協力の下‘芋ほり  体験‘を行った。食育フェアでも‘はなちゃんの味噌  汁をつくってみよう‘の親子体験を行った。講演会の  ほか協力団体の相談コーナー、展示コーナーなどを  設け多数の参加があり好評であった。 | 保健予防課  H28 |
| 心血管疾患につながる可能性の高い対象者の推移  ＊Ⅱ度以上高血圧  H２４：５．９％　→　H２８：５．５％  ＊Ⅲ度高血圧  H２４：０．７％　→　H２８：０．７％  ＊HbA１c６．５以上  H２４：７．７％　→　H２８：１０．２％ |
| ①年間27回開催し380人参加し低栄養の意識啓発を図った。  ②年間6回開催し107人参加し低栄養の意識啓発を図った。 | 高齢介護課  H28 |
| ・子どもの頃から、栽培、収穫、調理を実践することで、食べる楽しさ、美味しさを感じる機会を増えている。毎日の食事が、動物や植物の命をいただくことや、食物を作る人等たくさんの人に支えられている　ことを知ることで感謝の気持ちを持つことができる。 | 子育て支援課  H28 |
| 男女がともに参加しやすい生涯スポーツ推進体制の整備 | スポーツレクリエーションでは、スポーツ推進員の働きかけにより、多くの市民に参加を促し、健康づくりを支援した。 | 生涯学習課  H28 |
| **（２）教育・学習事業の推進** | あらゆる学習の場を通じた性と生命の教育の推進 | ・玉名中学校にて１～２年生及び教諭を対象に健康教育を実施（参加２４３名）。  ・岱明中学校にて１年生及び教諭を対象に健康教育を実施（参加１１７名）。 | 保健予防課  H28 |
| ・月１回の各避難訓練を通して、機敏に避難することが身につき、命の大切さに気づくことができている。・小動物に関するおう絵本や図鑑を見ることで興味を高め、命を大切にする気持ちが芽生えている。 | 子育て支援課  H28 |
| 「性と生殖に関する健康/権利（リプロダクティブ・ヘルス/ライツ）」の理念についての啓発活動の推進 | ・各事業を通した啓発とともに、母親の思いに寄り添った支援の実施に努めた。 | 保健予防課  H28 |

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| **施策の基本方向** | **主要施策** | **具体的な取り組み** | **平成28年度の実施状況** | **担当課** |
| **２　子育て支援、高齢者などへの支援と暮らしやすい環境の整備** | **（１）安心して産み育てられる支援の充実** | 子育てに関する情報と学習機会の提供 | ・毎週金曜に母子手帳交付及び両親学級（参加２３８人）を開催。パパ手帳や家族に向けた妊婦支援の資料を配布して説明行った。  ・健診や育児学級等では、母親の思いを傾聴し、相談対応や助言行うとともに、子どもの成長・発達に合わせたかかわり方についての資料配布や地域の子育て支援センターの紹介を行った。 | 保健予防課  H28 |
| ・一日保育士体験に父親の参加があり、父親の子育てへの意識が高まってきている。・保育参観についても、父親の参加が少しずつ増えてきている。 | 子育て支援課  H28 |
| 母子保健の充実と健康支援 | ・母子手帳交付５０６人（新規）、両親学級参加２３８人。妊娠中の健康管理や栄養面について説明。  ・母子保健推進員による妊婦訪問、相談４６３件。乳児訪問、相談４７０件。  ・乳幼児健診を４４回／年実施。さくらんぼ学級や育児栄養相談については、２４回／年実施。  ・産後ママビクス１６回／年、ＢＰプログラム１２回／年開催。  ・乳幼児健診時に親に向けた若人健診の受診勧奨行う等、それぞれの事業を通じた親子との関わりの中で、健康づくりの大切さについて説明し、意識の向上図った。  ・乳幼児健診未受診児については、家庭訪問や電話での受診勧奨などを実施した。 | 保健予防課  H28 |
| ひとり親家庭への生活自立支援 | ・児童扶養手当受給資格者（2月末現在）  　749人（うち全部支給停止者79人）  ・母子家庭等自立支援給付金事業　　1人  ・母子家庭等高等技能訓練促進費支給事業　14人  ・ひとり親家庭等医療費助成　（2月末現在）  　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　985人認定 | 子育て支援課  H28 |
| 子育て支援体制の充実 | ・さくらんぼ学級（参加４２４組）では座談会を行い、親同士の仲間づくりを支援した。  ・子育て支援センターとの情報交換会を３回／年開催し、地域の子育てに関する現状について意見交換行った。  ・各地区にて毎月母子保健推進員の定例会を開催して知識習得を図るとともに、子育て広場を開催して地域の子育て支援の充実を図った。  ・子ども・若者とメディアを考える会では、「関係機関が連携して子育て世代や次世代を見守り、支えあう地域を目指して」というテーマのもと、保育園等の関係機関とともに目指す地域づくりについて検討行った。 | 保健予防課  H28 |
| 市内６か所の施設でそれぞれ特徴を生かした活動で、子育て親子の触れ合いの場、憩いの場として定着している。  平成２８年度、６拠点での述べ利用者数：33,527名 | 子育て支援課  H28 |
| **（２）高齢者・障がい者、外国人等が安心して暮らせる環境の整備** | ｢自分らしく｣過ごせるライフスタイルの実現と健康支援 | ①玉名市地域包括支援センターと連携し、高齢者が自宅で安心安全な生活がおくれるよう努めた。  ②各地区でウオーキング、演芸会、料理教室、小学校へのボランティア清掃等を企画、実践し住民による自主活動が活発化してきている。 | 高齢介護課  H28 |
| 高齢者・障がい者の｢介護する方・される方｣双方の支援 | 護相談支援事業所と協力しながら、当事者や家族の相談等に対応し、アドバイスやサービスの支給決定を行った。 | 総合福祉課  H28 |
| ①介護保険を必要とされる方へのサービス提供   1. 知症フォーラム等を開催し高齢者に周知を図る。   ③高齢者世帯に必要な支援を提供。 | 高齢介護課  H28 |
| 高齢者などの社会参画及び就業支援 | ①相談支援事業所や障がい者就業生活支援センター「」きずな」と連携して行うことができた。  ②就労部会についても、就労継続支援事業も交え意見交換会を実施するなど、広域的に取り組むことができた。 | 総合福祉課  H28 |
| 高齢者を中心にパソコン講座を開催し、就業に必要な技術等の習得に努めた。 | 高齢介護課  H28 |
| さまざまな困難を抱えている人々が安心して暮らせる環境の整備 | くらしサポート課の生活安心ネットワーク員会において、性的マイノリティの方々が抱える問題を取り上げ、各課の窓口において相談者の人権に配慮した対応を考える機会を設けた。 | 人権啓発課  H27 |
| 玉名市地域包括支援センターと連携し、認知症の本人やその家族はもとより、地域で見守るための様々な講座を開催した。 | 高齢介護課  H28 |
| 女性や災害弱者の視点を踏まえた防災分野における男女共同参画の推進 | 熊本地震に伴い、男女共同参画の視点を踏まえた啓発活動及び防災安全課へ協力を依頼した。また、広報紙においても掲載を行った。 | 人権啓発課  H28 |
| H28/11/20玉名市総合防災訓練開催。避難所での妊産婦、高齢者、障がい者等への対応を訓練。参加者は九看大、樹心台、市、社協等100名。 | 総合福祉課  H28 |
| ユニバーサルデザインに基づく都市施設の整備 | 道路の新設・改良の際には、ユニバーサルデザインを基本として、設計した。 | 建設課  H28 |

**重点目標Ⅳ･･･　男女共同参画に関する推進体制の整備**

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| **施策の基本方向** | **主要施策** | **具体的な取り組み** | **平成28年度の実施状況** | **担当課** |
| **１　男女共同参画推進体制の充実** | **（１）推進体制の整備** | 男女共同参画のための推進体制の整備 | 平成28年度は玉名市男女共同参画審議会を3回実施。審議会で出された意見を専門部会などで議題にして検討した。 | 人権啓発課  H28 |
| 平成28年度は行政推進委員会を1回、専門部会を3回実施。専門部会では男女共同参画の基本的な考え方及び意識調査を踏まえた市民意識の現状把握等の学習機会を提供した。 | 人権啓発課  H28 |
| 男女共同参画計画の進行管理 | 各課から出された実績報告を取りまとめ、計画の進行管理を行い、ホームページで公開した。 | 人権啓発課  H28 |
| 職員の能力向上と人材育成 | 女性職員の各種研修への参加は確実に増加しているもののまだ十分とは言えない。 | 総務課  H28 |
| 女性職員研修への積極的な参加に向け、人材確保に努めた。 | 人権啓発課  H28 |
| 総合的な相談体制の整備 | 1. 市民相談　　 58件 2. 消費生活相談　　573件 3. 多重債務相談　　511件 4. 生活困窮者相談　　　1,235件   　　　　　　　　　　　　　　　　　『無料法律相談』  ＜弁護士無料法律相談＞  毎月第2・第4水曜日開催  ＜司法書士無料法律相談＞  毎月第1・第3水曜日開催  （時間）  13:30～16:00  （相談件数）  1回　　5件 | くらしサポート課  H28 |
| 手話通訳者の設置の利用は毎月平均２０件以上ある。手話通訳者の設置は、聴覚障がい者のみならず、健聴者にとっても非常に有益である。 | 総合福祉課  H28 |
| ・平成２８年度婦人相談述べ件数２１７件  ・平成２７年度の２０３件から微増であるが、相談内容はDV案件や生活困窮、離婚問題などここ近年多様化かつ重篤化する傾向にある。また警察や、医療機関をはじめ教育機関を通じての相談も増加しており、相談体制の周知も徐々に定着してきている。 | 子育て支援課  H28 |
| 定例会及び随時連絡をとり連携を図った。 | 高齢介護課  H28 |
| 地域を分けて担当する地区担当制をとっており、母子から成人保健までその地区の実情を理解した保健師が関わるように努めた。また、近年複雑な要因が絡む相談が多く、内容により関係各課・機関と連携、支援した。 | 保健予防課  H28 |
| 国、県、他市町村や各種団体との連携 | 地域連絡会議が玉名地域振興局で開催された。  また、熊本県庁で県内市町村グループ別研修も開催され、近隣自治体や、行政規模の類似している県内自治体の担当者同士の意見交換等が行えた。 | 人権啓発課  H28 |

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| **施策の基本方向** | **主要施策** | **具体的な取り組み** | **平成28年度の実施状況** | **担当課** |
| **２　活動拠点施設の整備** | **（１）活動拠点の充実** | 男女共同参画センターの設置 | 男女共同参画センターの開設に関しては、既存施設等での活用も視野に担当課と相談しながら、今後検討していく。 | 人権啓発課  H28 |